

トピックス TOPICS

平成 18 年度敬老会開催

9月19日(火)、中央体育館において平成18年度広野町敬老会が開催されました。今年の最高齢者は、昨年が続いて下北迫にお住まいの阿部ミツエさん(満100歳)でした。また、50年間苦楽を共にした21組のご夫婦が、広野町及び福島民報社から金婚夫婦の表彰を受けられました。式の後、歌手の岬花江さんと岬さんが設立した「岬学園かもめパン工房」の学園生たちによる歌謡ショーが行われ、場内は元気なお年寄りの笑顔があふれていました。



秋の交通安全パレード・ふれあいキャンペーン実施

9月21日(木)、秋の交通安全運動の一環として少年交通安全指導隊4名、広野小学校鼓笛隊213名、町内各種団体・事業所など総勢333名の参加のもと交通安全パレードが「アイアイ」から広野町公民館まで約2kmの区間をパレードしました。

その後、東京電力広野火力、安全協会広野分会、交通安全母の会等総勢47名により「アイアイ」前でふれあいキャンペーンが実施され、道路を往来するドライバーに反射材付バッグと交通安全啓発品を配布して交通安全を呼びかけていました。



したことに對し、衷心より厚く御礼を申し上げます。
次に、グリコ跡地への企業の進出について申し上げます。
グリコ跡地への新たな企業の誘致については、福島県東京事務所を通じて、積極的に誘致活動を展開して参りました。数社から問い合わせがありました。厳しい経済情勢の中で新たな誘致には至りませんでした。しかしこの度、いわき市泉町地内で、一般貨物運送業並びに倉庫業を営営する喜美運送株式会社が、進出を計画しております。

教育グループ関係事業

JFA「アカデミー福島」の生徒を支援するため、広野町サポーターファミリー八家庭に七月一日・二日及び八月二十六日・二十七日それぞれ一泊二日の日程でホームステイを実施いたしました。
アカデミー生からは、「次のホームステイが待ち遠しい」との意見もあり、好評を得るとともに保護者からも感謝の手紙などが寄せられております。
また、語学指導助手のエミリー・ロム先生との契約が満了し、七月二十五日に帰国されたあと、七月三十一日に、新たな語学指導助手として



双葉地方町村対抗球技大会

アメリカ合衆国カリフォルニア州出身のジョシユア・グレイ氏と契約を締結し、前任者同様中学校を中心として英語の指導にあたることになっております。
次に公民館関係事業であります。六月七日及び二十一日の二日間「いわきき町民講座」を開催いたしました。
また、六月二十五日「第四回福島民報杯パークゴルフ大会」、七月九日「双葉地方町村対抗球技大会」、三十日「福島県民スポーツ大会」が開催

平成十七年度の決算概要

されました。それぞれの種目にご参加いただきました皆様から御礼申し上げます。
一般会計をはじめ各特別会計とも厳しい財政状況の中、徹底した経費の節減と合理化を図るとともに、それぞれの目的に沿った効率的な事業の執行に努めて参りました。

その結果、一般会計の決算総額は、歳入では四十六億九千五百九十九万四千円、対前年度比一四・七パーセントのプラス、歳出では四十五億二千九百七十七万一千円、対前年度比一五・七パーセントのプラスとなっております。歳入歳出差引額及び実質収支額は一億六千八百九十九万三千円の黒字となりました。また財政調整基金への積立金や、取り崩し額を加減した「実質単年度収支額」も二億六千八百四十一万三千円の黒字となっております。これは、広野火力五号機の運転開始により固定資産税が大幅に増加したことによるものであります。

補正予算案

まず、十八年度一般会計補正予算案につきましては、歳入の主なものは決算剰余金、特別会計からの繰入金金の計上。歳出の主なものにつきましては、経費の節減により財源の確保を図る一方、集中豪雨に伴う災害復旧工事等維持補修費や森林環境交付金事業など、緊急に措置すべき経費に限っての計上とし、歳入歳出の調整は財政調整基金積立金の計上をすることといたしました。その結果、一般会計補正予算の総額は七千七百一十八万八千円の増額となり、本年度予算の総額は四十六億八千二百四十四千円となります。

次に十七年度特別会計補正予算案につきましては、それぞれの目的に沿った事業を実施するための経費を計上いたしました。